

瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



アイディアマン参上

朝のマイタイム。

子どもたちが自ら選択する活動の種類が増えてきました。

図書室に本を借りに行ってから読書にふける。

折り紙でお気に入りの作品を作り続ける。

友だちとパズル教材で楽しく遊ぶ。

アイパッドで英語の学習をする。

かるたで友だちと対戦する。

塗り絵に没頭する。



思い思いの活動に取り組みながら、一日の学習のリズムを生み出します。

今朝は、あるクラスでこんな出来事がありました。

昨日の生活科で行ったアサガオに種の観察。

その観察用紙を入れるクリアケースがあります。

昨日の段階で用紙がケースにしまえていなかったため、マイタイムで次のように声を掛けました。

「誰か昨日の観察用紙をしまうのを手伝ってくれる人？」

かるたをしていた子や色塗りをしていた子や折り紙をしていた子が、自分の活動をさておいて教卓周りに集まってきてくれました。

私は

「ありがとう！」

「助かるな～」

「人を助けられるみんなはヒーローだね」

と称賛を伝えながら作業を進めると、作業はどんどん活性化しました。



その時に、一枚だけ名前が書いていない用紙がありました。

何かの活動をしてプリントを配布した時にはよく起きるできごとです。

ファイルにしまうにも、誰の用紙なのかが分からない為入れられません。
しかも、まだクラスに全員が登校していない為、「これ誰の？」と聞いても分からない可能性が大です。

その時、ある男の子がすかさず声をあげました。

「その紙はおいといて、他のを全部ファイルに入れたら誰のか分かるんじゃない？」

見事な対処法です。

こうやって臨機応変に対処できるのはとても大切な力だと言えます。

「アイディアマンだね～」とその子の発案をみんなで称えて、ひとまず他の用紙を全てしまうことにしました。

そして、さっきのアイディアマンのシミュレーション通り、ファイルが一つだけ残りました。

さてさて、名前書き忘れたのは誰かなと確認すると…

「あ、これ僕のだった。」

アイディアマンは、恥ずかしそうに笑いました。（文責：渡辺道治）

[1学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](#)